

# 「薬学図書館」執筆要領

## 1. 本誌の内容

本誌には薬学および関連領域における図書館・ドキュメンテーション活動、各種資料に関する動向・解説・調査報告・トピックス記事ならびに当協議会関係記事などを掲載する。

## 2. 著作権

- 2.1. 本誌に掲載された記事の一切の著作権（日本国著作権法第 27 条及び第 28 条に定められる権利を含む）は当協議会に帰属する。
- 2.2. 執筆者が、掲載記事を著作権で認められた範囲を超えて別途利用する場合は、当協議会事務局に連絡し、許諾手続きを経るものとする。
- 2.3. 執筆者は、掲載著作物の掲載号の次号発行日前に、掲載記事を別途利用することはできない。
- 2.4. 執筆者が、掲載記事を執筆者自身の、もしくは所属機関のサイトや機関リポジトリ上で公開する際は、当協議会事務局に連絡し、事務局より提供される PDF データを使用する。
- 2.5. 執筆者が、掲載著作物を別途利用する際には、「薬学図書館」誌に掲載されたものであること（題名、掲載誌名、年、掲載巻号、頁）を明記する。
- 2.6. 上記によりがたい場合は、当協議会事務局に問合せる。

## 3. 原稿の提出形式

- 3.1. 原稿本文は横書きとし、20 字×20 行（約 6 枚で刷り上がり 1 頁）を標準形式とする。
- 3.2. 原稿は電子メールまたは電子媒体に保存し送付すること。手書き原稿も可とする。
- 3.3. 電子メール、電子媒体での送付について、文字は原則として Word 形式もしくはプレインテキスト形式（txt 形式）とする。図は原則としては gif, tiff, bmp, jpeg 形式もしくは Word への貼りつけ形式とし、仕上がりイメージを紙に印刷の上、別途郵送または FAX 送信するものとする。
- 3.4. 原稿の第 1 頁目には次のことを明記し、本文は第 2 頁目から書くこと。
  - 3.4.1. 上部に論題（必要に応じその英訳）と著者名。
  - 3.4.2. 下部にローマ字著者名（姓名ともに略さずに書き、姓はすべて大文字にする）、所属機関・部署名、郵便番号、所在地、掲載を希望する場合はメールアドレス。
- 3.5. 抄録（和文）は本文の内容を 200～300 字程度で指示的にまとめ、別紙で添付する。
- 3.6. 抄録（英文）は可能な限り作成し、本文の内容を 80～120 語程度で指示的にまとめ、別紙で添付する。
- 3.7. キーワード（必要に応じその英訳）を 5～10 程度付ける。

## 4. 原稿添付票

所定の「原稿添付票」を編集部から送付するので、必要事項を記入し、原稿とともに送付するか FAX 送信する。

## 5. 表 記

- 5.1. 原則として現代かなづかい、常用漢字を用いる。
- 5.2. 句読点ははじ丸“。”とコンマ“,”を使う。
- 5.3. 見出しは“章”や“節”などの文字は使わずに、ポイントシステムを用いる。

例 (章) 1.            2.  
(節) 1.1.        2.1.  
      1.1.1.      2.1.1.

## 6. 図 表

- 6.1. 図表を電子形式で提出する場合、3.3 の形式で作成するものとする。紙で提出する場合は下記とする。
  - 6.1.1. 図はそのまま写真製版にかけられるものとする。
  - 6.1.2. 図表はその大小にかかわらず、各々 1 図 1 枚、1 表 1 枚とする。
  - 6.1.3. 図表はそれぞれ番号順にまとめて提出する。
- 6.2. 図表の番号は図 1、図 2、表 1、表 2、…のように付ける。

- 6.3. 図・写真は，白黒印刷で判別できるものを用意する。
- 6.4. 図表は縮小されることを考慮して作成すること。縮小率は編集委員会で決定する。
- 6.5. 図表の挿入箇所は，文中に明示する。
- 6.6. 図，写真のキャプションは別紙にまとめて記載し，添付する。

## 7. 引用文献

- 7.1. 引用文献は主要なもので，かつ入手可能であるもののみ限定する。
- 7.2. 引用順に番号を付し，本文中の引用箇所の右肩に 1), 2), 3) のように記入し，書誌記述は本文のあとにまとめて記載する。
- 7.3. 欧文雑誌名は Index Medicus に従って略記する。和文は省略しない。
- 7.4. 著者は筆頭著者のみ記し，複数の著者がいる場合は，ほか・et al とする。

### 7.5. 記述例

#### 7.5.1. 雑誌の 1 記事

連番) 著者名. 論文名. 雑誌名. 巻(号), 出版年, 開始頁-終了頁.

- 1) 根本 恵ほか. 国内の無作為化比較試験論文に対する効果的な検索手法の検討. 薬学図書館. 47(3), 2002, 275-283.
- 2) De Groote, S. L. et al. Online journals: Impact on print journal usage. Bull Med Libr Assoc. 89(4), 2001, 372-378.

#### 7.5.2. 図書 1 冊

連番) 著者名. 書名. 版表示. 出版地, 出版者, 出版年, 総頁数, (シリーズ名, シリーズ番号). (ISBN)

- 3) 佐藤憲一ほか. コ・メディカルのための情報リテラシー. 東京, 共立出版, 2003, 330 p. (ISBN 9784320120600)
- 4) Bernhardsen, T. Geographic information systems: An introduction. 3rd ed. New York, Wiley, 2002, 320 p. (ISBN 9780471419686)

#### 7.5.3. 図書の 1 章

連番) 著者名. “章の見出し”. 書名. 版表示. 出版地, 出版者, 出版年, p. 開始頁-終了頁, (シリーズ名, シリーズ番号). (ISBN)

- 5) 縣 俊彦. “情報検索”. EBM のための PubMed, Impact Factor. 東京, 中外医学社, 2001, p. 21-43. (ISBN 9784498009721)
- 6) Snow, B. “Internet pathfinders drug information”. A guide to current resources. 2nd ed. London, Scarecrow Pr. Pub, 2000, p. 122-129. (ISBN 9780810833203)

#### 7.5.4. 図書形態の論文集, シリーズ中の 1 論文

連番) 著者名. “論文名”. 書名: 副書名. 編者名. 出版地. 出版者, 出版年, p. 開始頁-終了頁, (シリーズ名, シリーズ番号). (ISBN)

- 7) 野末俊比古. “情報リテラシー”. 情報探索と情報利用. 田村俊作編. 東京, 勁草書房, 2001, p. 229-278, (図書館・情報学シリーズ, 2). (ISBN 9784326048014)
- 8) Patrick, E. et al. “Designer drugs”. Clinical management of poisoning and drug overdose, 3rd ed. Haddad, L. M. et al., ed. Philadelphia, Saunders, 1998, p. 569-581. (ISBN 9780721664095)

#### 7.5.5. 図書形態の会議報告の 1 論文

連番) 著者名. “論文名”. 会議報告書名. 編者名. 会議開催地, 会議開催年月, 会議開催機関名. 出版地, 出版者, 出版年, p. 開始頁-終了頁. (ISBN)

- 9) Oyama, K. et al. “Construction of a distributed online journal editing system”. Proceedings of international

symposium on digital libraries. Tsukuba, 1999-9, University of Library and Information Science, Tsukuba, University of Library and Information Science, 1999, p. 74-81.

#### 7.5.6. Web サイト, Web ページ

連番) 著者名. “Web ページの題名”. Web サイトの名称. (媒体表示), 入手先, (参照日付).

- 10) 長谷川豊祐. “図書館業務におけるインターネットの可能性”. 図書館員のためのインターネット. (オンライン), 入手先 <<http://www2d.biglobe.ne.jp/~st886ngw/possibility.htm>>, (参照 2003-04-01).
- 11) International Federation of Library Associations and Institutions. “Library & information science: Organizations and companies”. IFLANET. (online), available from <<http://www.ifla.org/II/orgs.htm>>, (accessed 2003-05-01).

#### 7.5.7. 電子雑誌の1論文

連番) 著者名. 論文名. 誌名. 巻数, 号数, 出版年, ページ. (媒体表示), 入手先, (入手日付).

- 12) 尾城孝一. 図書館におけるインターネットリソースの活用: サブジェクトゲートウェイによる情報探索支援. びぶろす. 電子化 13 号, 2001. (オンライン), 入手先 <<http://www.ndl.go.jp/jp/publication/biblos/backnumber/2001/07/index.html#02>>, (参照 2003-05-01).
- 13) Rose, H. et al. Electronic evaluating the teaching of evidence-based medicine. J Am Med Assoc. 288(9), 2002, 1110-1112. (online), available from <<http://jama.ama-assn.org/cgi/content/full/288/9/1110>>, (accessed 2003-05-01).

### 8. 原稿の受けと取扱いについて

- 8.1. 当編集部が原稿を受け取った日を“受付日”とする。
- 8.2. 本誌に掲載した原稿は返却しない。ただし、写真、図表などあらかじめ申し出があった場合には返却する。

### 9. 査読

受け付けた原稿は、編集委員会が査読を行う。内容によっては、外部レフェリーに査読を依頼する。査読結果をもとに内容の加除、訂正を求めることがある。なお、原稿の採択は編集委員会が決定する。

### 10. 著者校正

初校で行う。校正の際の原文変更は認めない。

### 11. 掲載誌, 別刷

共著者を含めて著者にはそれぞれ本誌1部を贈呈する。原則として論文については、別刷を10部まで無料で作成する。

#### 原稿の提出先

「薬学図書館」編集部  
〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 (財)学会誌刊行センター内  
Tel: 03(3817)5821 Fax: 03(3817)5830  
E-mail: yakuto@capj.or.jp

#### 著作権等の問合せ先

日本薬学図書館協議会 事務局  
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1  
パレスサイドビル 9F (株)毎日学術フォーラム内  
Tel: 03(6267)4550 Fax: 03(6267)4555  
E-mail: jpla@mynavi.jp

(2015年3月改訂)